

## 1. 研究の概要

### 1.1 研究の背景

星ヶ丘周辺は買い物や飲食店が充実し公共交通の利便性もよく、星が丘テラスには緑地スペースが設けられ、居心地が良くのんびり過ごせるといった良さがある。実際に通学する中で星が丘テラスは居住環境の良さに貢献していると感じたが、コロナ禍による行動制限がなくなっているのにも関わらず平日はオープンスペースに人が少ない。また、星が丘テラスは私有地であるため公園や駅前といった公共施設とは違った性質を有しているという特徴もある。そこでどのように星が丘テラスのオープンスペースが使われているのか研究することに意義があると考えた。

### 1.2 研究の目的

星が丘テラスオープンスペースの利用実態(いつ・どこで・誰が/誰と・何をしているか等)を調査・分析し、星が丘テラスの利用特性を明らかにする。さらに今後の星が丘テラスオープンスペースの設えや空間特性を活かした活用方法について提案を行うことを目的とする。

### 1.3 研究の位置づけ

既往研究では着座設備の導入が交流行動を誘発させる可能性があり、広場の質を向上させるのに有効であること<sup>1)</sup>や、空間特性の違いに応じた異なる利用があり、地区で過ごす人々のそれぞれの利用目的を地区全体で捉えることが地区の魅力につながると考えられること<sup>2)</sup>が明らかになっている。しかし季節による利用実態を比較する調査はほとんどない。また研究対象地は公園や広場などのパブリック空間で、都心から一定の距離がある住宅地に囲まれたエリアの商業施設を対象としたものはみられなかった。

### 1.4 研究の構成

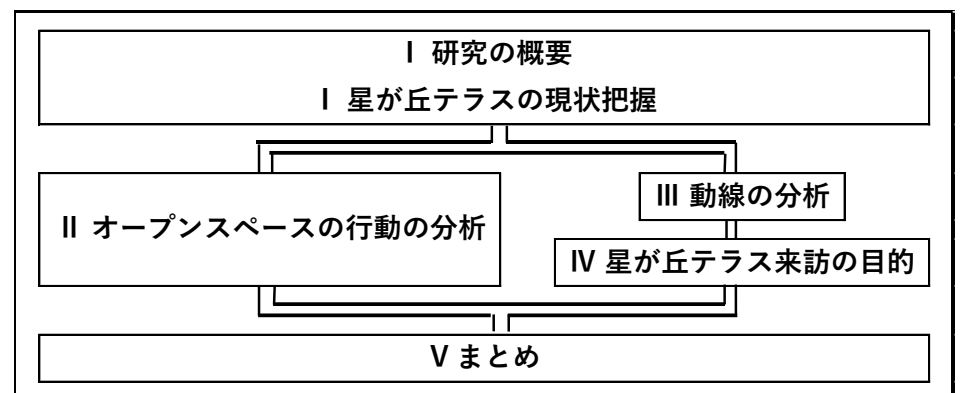
研究の構成を図表 I-1 に示す。研究の概要、星が丘テラスの現状を把握したのち、行動観察、動線、来訪の目的について分析し、最後にまとめとする。

### 1.5 研究の方法

調査実施日、研究方法、観察項目は図表 I-2、I-3 の通りである。ただし、動線・通行量調査は9/9(土)、10/28(土)の2日間とした。また10/28(土)、10/29(日)の2日間はマルシェが開催されていた。

### 1.6 研究の対象

星が丘テラスの WEST の1階部分、EAST の1階と2階の着座設備を研究の対象とした。(図表 I-4)



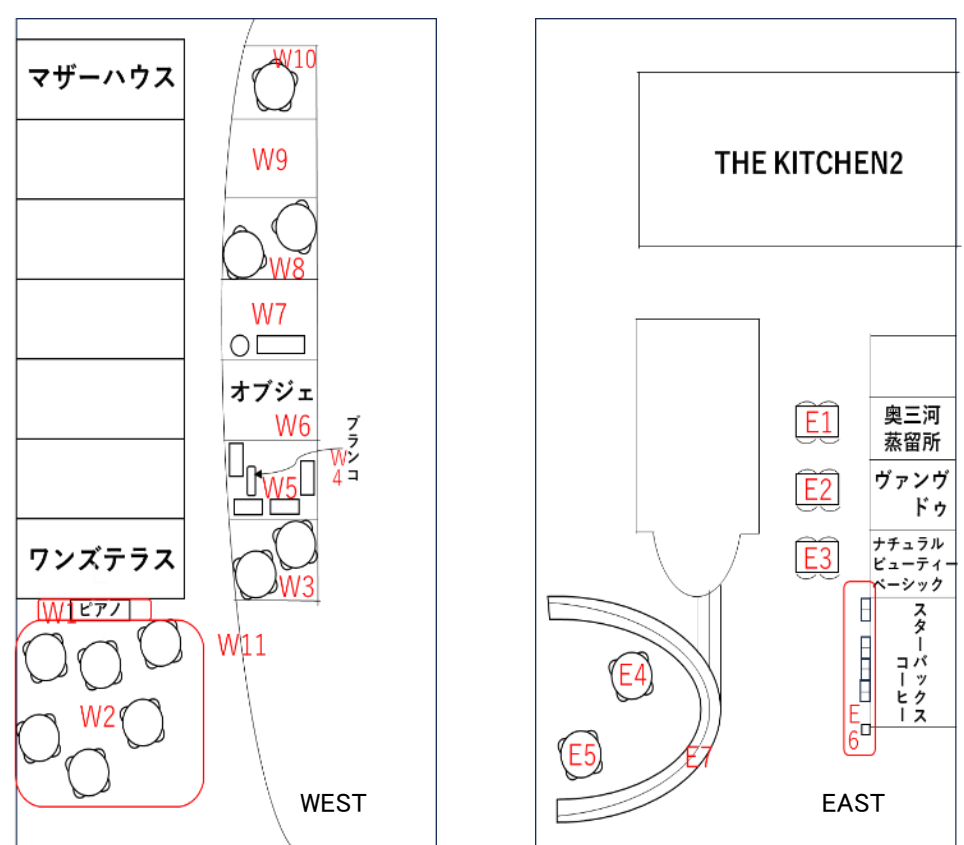
図表 I-1 研究の構成

夏季	秋季	
9/7(木) 10:30~19:00	10/25(水) 10:30~19:00	
* 9/9(土) 10:30~19:00	* 10/28(土) 10:30~19:00	* 動線調査あり
※ 9/10(日) 10:30~14:30	10/29(日) 10:30~19:00	※ 雨天のため

図表 I-2 観察調査の実施日

行動観察の方法	観察項目
10:30~19:00までの間、右記の項目について30分おきにEAST、WESTそれぞれで観察を行った	<ul style="list-style-type: none"> <li>滞在場所: 乳幼児、小学生 女の子・男の子</li> <li>属性: 中高生 女性・男性、大学生 女性・男性、20代 女性・男性、30~40代 女性・男性</li> <li>グループ: 1人、カップル・夫婦、親子・家族、親族、友達、仕事関係、未就学児親子・親族、中高生友人、ママ友、その他</li> </ul>
動線調査の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>何人連れ: 飲食、スマホ、会話、休憩、電話、読書、パソコン、勉強、ブランコ・オブジェ等で遊ぶ・歩き回る</li> <li>行為: 持参したおもちゃ等で遊ぶ、見ている・見守っている、親も一緒に遊んでいる・歩いている、ピアノを弾く、写真や動画を撮っている、その他</li> <li>日向/日陰</li> <li>姿勢: 座る、立つ</li> </ul>
通行量、入店客数、マルシェを訪れる人数を10:30~16:00まで、30分おきに1時間ずつ記録した	

図表 I-3 観察方法と観察項目



図表 I-4 星が丘テラスの屋外観察対象エリア (左:WEST 右:EAST)

## 2. オープンスペースの行動分析

	WEST						EAST					
	夏季 平日	夏季 土曜日	夏季 日曜日	秋季 平日	秋季 土曜日	秋季 日曜日	夏季 平日	夏季 土曜日	夏季 日曜日	秋季 平日	秋季 土曜日	秋季 日曜日
乳幼児	11	57	26	16	197	193	6	23	1	17	15	17
小学生 女の子	0	6	7	7	14	11	0	4	2	5	3	4
小学生 男の子	0	4	7	2	4	4	0	6	0	0	2	6
中高生 女性	7	47	10	17	4	15	0	16	6	4	1	7
中高生 男性	23	36	2	4	2	7	5	13	3	1	4	6
大学生 女性	4	13	1	23	11	15	10	2	1	26	11	8
大学生 男性	4	15	1	4	4	11	2	7	2	23	3	5
20代 女性	8	17	15	14	54	42	1	5	0	15	11	13
20代 男性	2	9	3	3	9	15	0	3	0	10	6	7
30~40代 女性	8	30	14	38	115	85	10	30	9	13	35	28
30~40代 男性	1	20	9	8	56	52	6	26	4	11	20	21
50~60代 女性	7	18	17	17	50	51	2	2	1	1	5	13
50~60代 男性	2	9	6	4	14	21	2	3	1	1	5	9
70代以降 女性	0	4	5	1	1	4	0	0	0	0	0	0
70代以降 男性	1	1	9	3	3	5	0	0	0	0	0	1
<b>合計</b>	78	286	132	161	538	531	44	140	30	127	121	145
* マルシェ					(内288)	(内258)						

図表 II-1 EAST・WEST の日にち別滞在人数(人)

### 2.1 夏季調査

#### (1) 夏季 平日

WEST の滞在者は中高生の男性、乳幼児、20代女性と30~40代の女性の順で多く、EAST では大学生の女性と30~40代の女性、乳幼児と30~40代の男性、中高生の男性の順が多かった。また小学生の利用はみられなかった。

#### (2) 夏季 土曜日

WEST の滞在者は乳幼児、中高生の女性、中高生の男性の順で多く、EAST では30~40代の女性、30~40代の男性、乳幼児の順が多かった。また、WEST はEAST の2倍以上利用されていた。

#### (3) 夏季 日曜日

WEST の滞在者は乳幼児、50~60代の女性、20代の女性の順で多く、EAST では30~40代の女性、中高生の女性、30~40代の男性の順が多かった。また、WEST はEAST の4倍以上利用されていた。

### 2.2 秋季調査

#### (1) 秋季 平日

WEST の滞在者は30~40代の女性、大学生の女性、中高生の女性と50~60代の女性の順で多く、EAST では大学生の女性、大学生の男性、乳幼児の順が多かった。特にEAST については、他の日にちとは少し異なる結果となった。

#### (2) 秋季 土曜日

WEST の滞在者は乳幼児、30~40代の女性、30~40代の男性の順で多く、EAST では30~40代の女性、30~40代の男性、乳幼児の順が多い。また、WEST はEAST の4倍以上利用されていた。

#### (3) 秋季 日曜日

WEST の滞在者は乳幼児、30~40代の女性、30~40代の男性の順で多く、EAST では30~40代の女性、30~40代の男性、乳幼児の順が多い、秋季の土曜日と同様の結果となった。またWEST はEAST の3.5倍以上利用されていた。

### 2.3 オープンスペースの滞在者のまとめ

同じ曜日のWEST とEAST で比較すると、秋季の土曜日と日曜日はマルシェが開催されていたため利用者が大幅に増加しているが、それを除いてもいずれの日にちもWEST のほうがEAST よりも滞在者が多いことが分かる。これには、EAST よりもWEST のほうが椅子が多く、さらに日陰の部分も多いことや、WEST にはブランコやオブジェなどの乳幼児や小学生が滞在したくなる場所があることなどが考えられる。また、観察した時間帯では夏季の平日にはWEST・EAST ともに小学生は1人もおらず、EAST では秋季の日曜日に70代以降の男性が1人いたものの、それを除く全ての日にちで70代以降の女性と男性はみられなかった。男女ともにほとんどの日程で30~40代が中心となり、乳幼児や小学生の子供を連れて訪れていると考えられる。次いで20代女性、50~60代の女性の順に滞在者が多い。全体を通してみると女性は64%、男性は36%と女性の方が多く結果となった。日ごとにみると女性が約7割~8割を占める日もあり、女性の利用者がメインだといえる。加えて、平日よりも休日、夏季よりも秋季の方が滞在者は増加する傾向にあることが分かった。夏季よりも秋季の方が利用者が多いのには、秋季の方が過ごしやすい気温になっているからだと考えられる。

## 2.4 日にち別行為人数

### (1) WEST

図表 II-2 から、夏季では平日は会話、スマホ、ブランコ・オブジェ等で遊ぶ、土曜は会話、スマホ、休憩、日曜は会話、飲食、見ているの順で多く、秋季では平日は会話、スマホ、飲食、土曜は会話、飲食、見ている、日曜は会話、飲食、ブランコ・オブジェ等で遊ぶの順で多いと分かる。

### (2) EAST

図表 II-3 から、夏季では平日は飲食、会話、スマホと休憩、土曜は飲食、会話、休憩、日曜は飲食、会話、スマホの順で多く、秋季では平日と土曜は飲食、会話、スマホ、日曜は飲食、会話、休憩の順で多いと分かる。

### (3) まとめ

WEST は様々な滞在空間があるため行動にばらつきがみられた。EAST はテーブルと椅子での滞在となり、飲食、スマホ、会話が中心であった。また、いずれの日にちも WEST では会話が一番多く、EAST では飲食、次いで会話の順が多かった。会話が多い理由としては、飲食しながら、スマホを見ながらなど別の行為と同時にできるからだと考えられる。

## 2.5 場所別滞在者数

### (1) 夏季

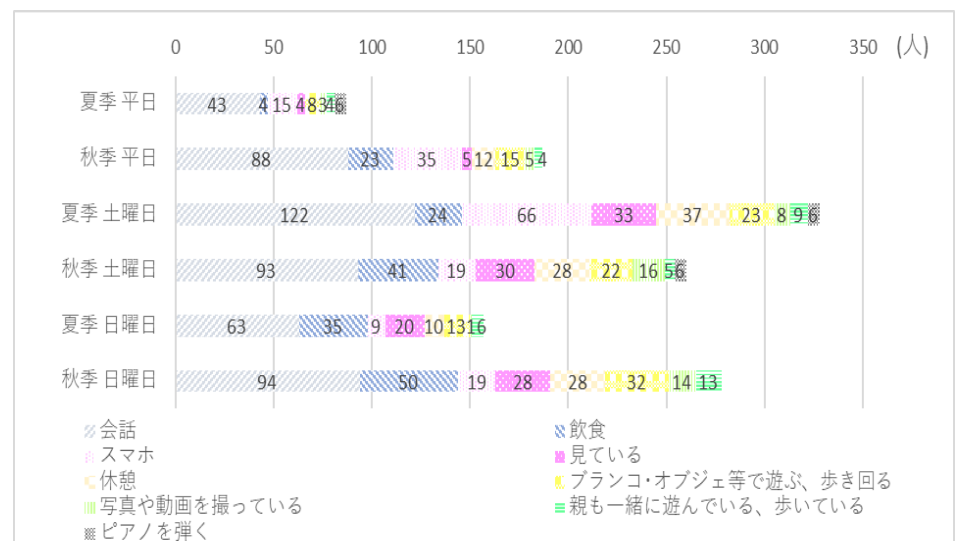
図表 II-4 から、WEST ではイベント広場の椅子やその周辺 (W2) に滞在する人が一番多く、次いで、オブジェが置いてあるエリア (W6)、ブランコ周辺のエリア (W5) の順が多い。EAST ではスターバックスコーヒーの店舗の椅子のエリア (E6) が一番多く、次いで広場の椅子やその周辺 (E4・E5) の順であり、その他のスペースには人はいなかった。

### (2) 秋季

図表 II-5 から、WEST では W2 に滞在する人が一番多く、次いで W5、W6 の順が多い。EAST では E6 が一番多く、次いで E4・E5、E1～E3 の順が多かった。

### (3) まとめ

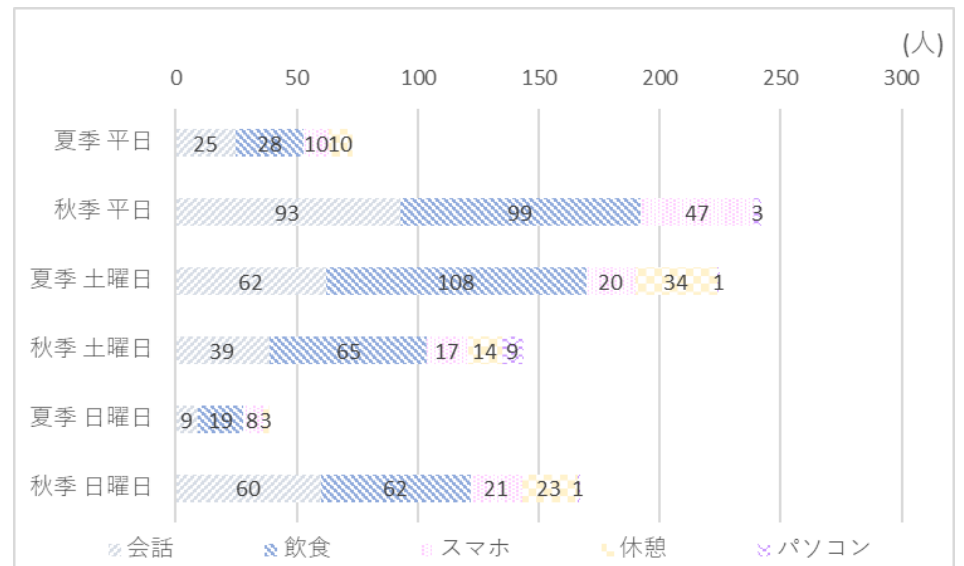
WEST の主な滞在場所は W2、W5、W6 であり、EAST の主な滞在場所は E6 が一番多く、次いで E4・E5 であることが分かった。E1～E3 は秋季には利用されていたものの少なく、これには日向であること、通行者との距離が近いことなどが考えられる。また WEST ではマルシェ開催に伴って秋季は段状のエリアに置かれていた椅子が撤去されていたものもあるが、夏季をみても W3 や W7～10 の滞在は少ない。これには、W2 に比べると日が当たること、ブランコやオブジェなどのものがある場所に滞在しやすいことなどが考えられる。



図表 II-2 WEST の日にち別行為人数(上位 9 項目)

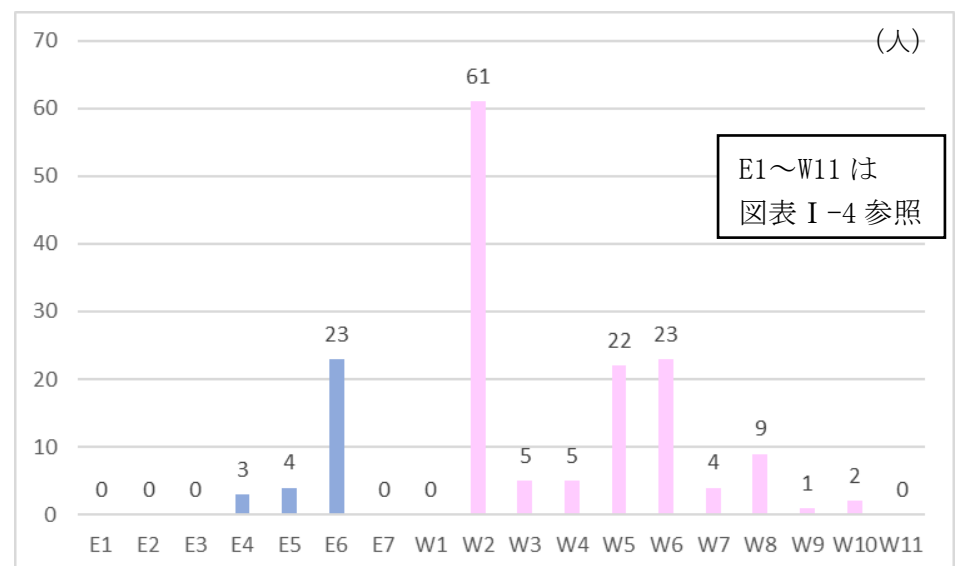
※秋季の土曜日と日曜日はマルシェの行動は含まない

※夏季の日曜日は雨天のため 14:30 までの観察

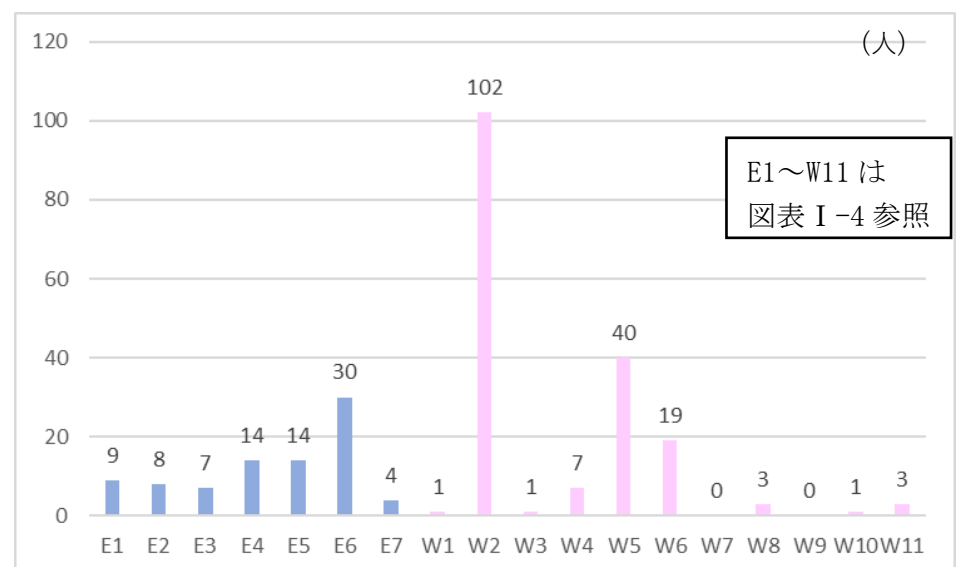


図表 II-3 EAST の日にち別行為人数(上位 5 項目)

※夏季の日曜日は雨天のため 14:30 までの観察



図表 II-4 夏季(日)の場所別滞在者数(10:30～14:30)



図表 II-5 秋季(日)の場所別滞在者数(10:30～14:30)

※マルシェの行動は含まない

### 3. 通行量に関する分析

#### 3.1 夏季動線・通行量 (図表Ⅲ-1, Ⅲ-2, Ⅲ-5)

夏季動線調査の日は K 高校の文化祭が開催されていた為、通常時よりも中高生が多かった。WEST 側に中高生だけで 472 人通行していた。母親との参加も多く 30~40 代の女性の割合が高い。夏季調査の EAST 側、WEST 側ともに店舗側より 2 割程度の人が車道側を利用している人が多かった。70 代以降の男性、女性では WEST 側は 14 人, EAST 側では 1 人であった。WEST 側にはアパレル店や専門店が多いことから 30~40 代の男性や女性が多いと考えられる。12:30~13:00 の昼食時の時間帯では EAST 側に飲食店が多いため EAST 側に人が多く集まった。

#### 3.2 秋季動線・通行量 (図表Ⅲ-3, Ⅲ-4, Ⅲ-5)

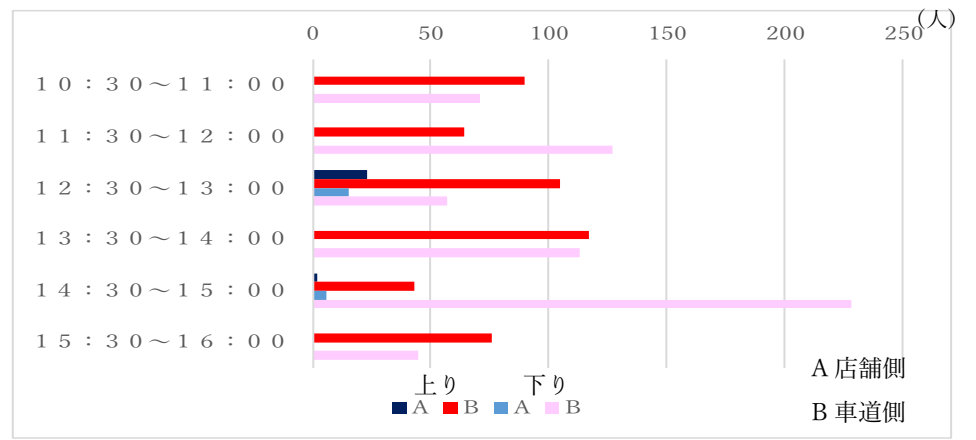
秋季動線調査の日は WEST 側ではマルシェが開催されていた為、WEST 側には EAST 側よりもやや人通りが多かった。EAST 側では 394 人、WEST 側では 445 人で差は 51 人であった。夏季の文化祭開催時では中高生が多かったが、マルシェ開催時では 30~40 代の男性と女性が多く見られた。30~40 代では EAST 側は 160 人、WEST 側は 142 人通行していた。70 代以降の男性、女性では WEST 側は 4 人 EAST 側では 7 人と少なかった。夏季と同様に EAST は昼食時の通行が多かった。

#### 3.3 通行量比較 (図表Ⅲ-1~Ⅲ-5)

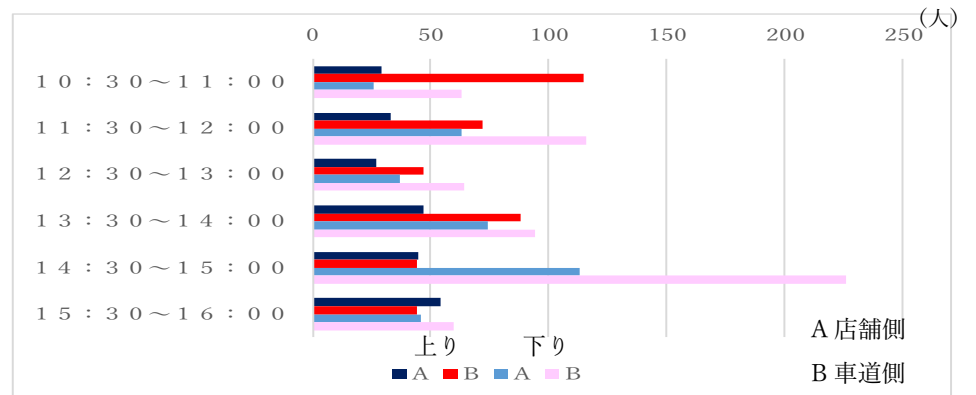
夏季調査時では店舗側を歩かず車道側を通行しているだけの人が多かった。夏季調査、秋季調査両日とも一番少ない年代は 70 代以降の男性、女性だった。秋季調査時では 14:30~16:00 の時間帯は車道側よりも店舗側の人が多いことから学校 (部活) 帰りや昼食を終えた人が店舗を見に行っていると考えられる。夏季 14:30~15:00 の下りが非常に多い。これは文化祭帰りの通行と考えられる。秋季は 10:30~11:00 の人が多いことから居住者が駅に向かうため、利用していると考えられる。15:30~16:30 の下っている人たちはマルシェから帰る人だと考えられる。

### 4. まとめ

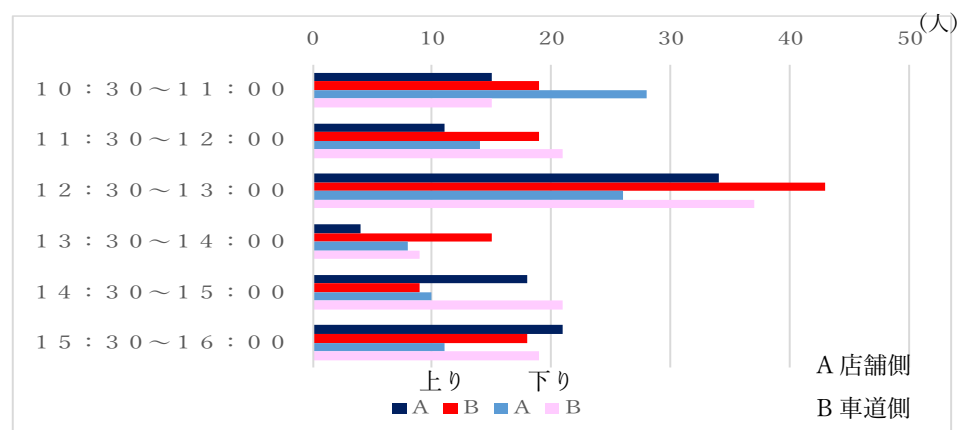
通行量、滞在者ともに EAST よりも WEST の方が多いが、昼時には飲食店が多く並ぶ EAST 側にも人が集まることが分かった。また、EAST は WEST よりも日向が多く滞在空間が限られていることから、日陰を設けることが EAST 側オープンスペースの利用増加に有効である。例えば E1~E3 のエリアでは、置いてあるテーブルと椅子をベンチのみに変える、日陰になるパラソルをたてるなどで利用者が増える可能性がある。WEST については段状の下は利用が少ない傾向にあり、ウィンドチャイムを置くなど椅子以外の機能を付随することで利用者が増える可能性がある。



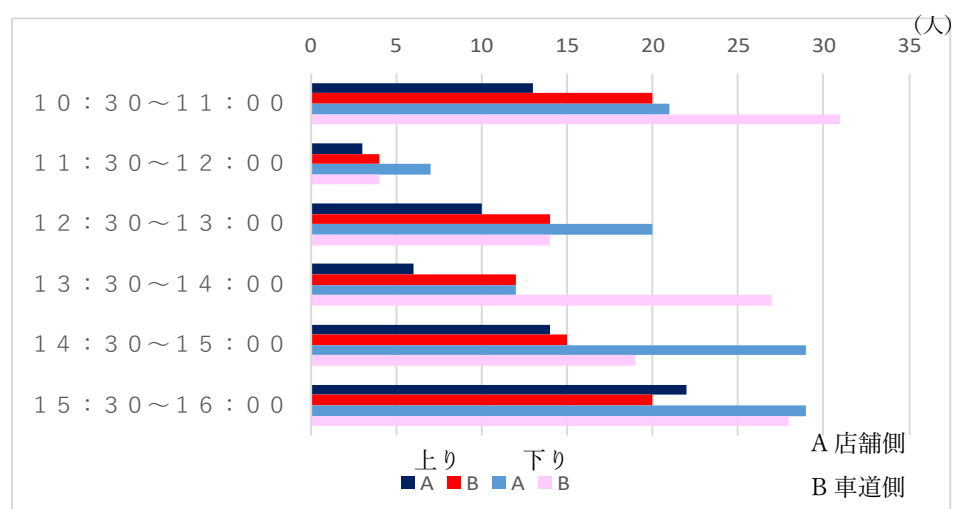
図表 Ⅲ-1 9月9日 EAST 側通行量 (夏季)



図表 Ⅲ-2 9月9日 WEST 側通行量調査 (夏季)



図表 Ⅲ-3 10月28日 EAST 側通行量調査 (秋季)



図表 Ⅲ-4 10月28日 WEST 側通行量調査 (秋季)

	未就学児	小学生	中学生女	中学生男	大学生女	大学生男	20代女	20代男	30代女	30代男	40代女	40代男	50代女	50代男	60代以降女	60代以降男
9/9E	27	64	227	113	85	39	125	85	194	134	37	51	0	1		
10/28E	18	36	18	1	12	5	24	19	99	61	98	47	6	1		
9/9W	56	114	305	167	34	25	86	53	435	188	72	78	9	5		
10/28W	14	37	0	0	0	0	27	5	105	37	120	45	3	1		

図表 Ⅲ-5 通行者の属性

#### (参考文献)

- 『大阪市茶屋町地区におけるパブリック空間の使いわれ方に関する研究』著者:横村優, 松尾薫, 武田重昭, 加我宏之 日本都市計画学会関西支部研究発表会講演概要集 20 巻, p. 133-136, 2022
- 『都市広場における着座設備の導入が滞留者の交流行動に与える影響-尼崎中央公園での社会実験を通じて-』著者:服部美樹, 松尾薫, 武田重昭, 加我宏之 日本都市計画学会関西支部研究発表会講演概要集 18 巻, p. 5-8, 2020 年